

## 小児在宅ケア研究会第18回年次集会 参加者の感想

- 支援学校の看護師の悩みは全く共通していて、教職員や保護者との意見共有がどれだけできているかに尽きると思いました。子供の権利が守られないなど緊急な案件を持っている児童生徒も多いです。相談支援専門員やデイ等の事業所や病院、OTPT などと問題解決や支援をしたい。クリアしていく課題も多いのも事実ですが。今日は参加して本当に励みになりました。これからともに頑張りましょう!
- 小児の学校支援の内容が特に気になっていたのがニーズに沿った内容を聞かせていた抱くことができ良かった。
- 講演で、三重県の特別支援学校での看護師の役割や多職種協働の実際を知ることができたのは大きな収穫でした。
- 学校や施設など子供が地域で家族と共に暮らすための取り組みの具体例を知ることができた。自施設でも子供や家族が安心して療養できる環境にするための仕組みや工夫など取り入れられることがないか、考える機会となりました。
- 子どもたちの成長発達を考慮した関わりを知ることができた。
- 事例が聞いて興味深かった
- 事例報告ではいろんなお子さんや家族の事が知れて参考になりました。各事例でこどもの成長や家族の変化などがありそれを知れてうれしい気持ちになれます。若い看護師さんたちが発表している事に勝手に感動して刺激をもらっています。この研究会は看護師が癒される会だなといつも思っています。また、こどもホスピスの事も詳しく知れてよかったです。ありがとうございました。
- 自身も病棟で在宅ケアの指導をすることがあり、似たようなケースや勉強になることが多くあった。
- オンライン参加で、聞きづらい部分が多かった。
- ZOOMでの参加でしたが、音声が変わりにくい発表もありましたので残念でした。